

東葛しぜん観察会

冬の散歩を楽しもう！ オオハクチョウなど自然ウォッチング

小坂 裕子(白井市)

日 時:2026年2月1日(日)10:00~12:00 天候:晴

参加者:29名(内 子ども3名)、指導員15名

担当指導員:小坂、白井幸、白井香、宮崎、

参加指導員:相吉、草野、小島、渋谷、鈴木俊、鈴木と、高橋、長谷川、林信、三嶋、山口、

コースは、誰でも参加しやすい、住宅街、遊歩道が中心の高低差の少ない約2kmの距離。コンセプトは明日から冬の散歩がもっと楽しくなる！とし、観察会のタイトルも気軽に参加できるよう「観察」ではなく「散歩」としました。その手助けとして、ビンゴと北総の野鳥ミニ図鑑を配布しました。

当日は快晴で無風。気持ちの良いお散歩日和。三班に分かれ、のんびり歩きます。クスノキやユーカリの香りを体験しながら、トウネズミモチの黒い実と鳥との関係のお話。冬の楽しみのひとつ、葉が落ち見つけやすい子育てに使用した鳥の巣の発見。厳しい寒さを防ぐ工夫をしているロゼットや暖かそうな形態のヨモギクキワタムシの虫こぶ。冬に会える鳥、ジョウビタキやツグミが度々近くに現れて、かわいらしい姿に一同、心癒されました。

花の少ない冬に元気なサザンカの花に集うメジロたち。調整池では約35羽のオオハクチョウが観察ポイント近くにいたため、オオハクチョウの灰色の幼鳥と親鳥が一緒に行動している様子やオナガガモのオス雌雄の違いが。後半にはカワセミがいつものポイントに来てくれました。全員見ることはできず、残念に思う方もいらっしゃいましたが、毎日ポイントに来ては会えません。自然は、お天気と同じ、出会いは予測不能が多いです。予想通り会えるのも楽しい。予測に反して偶然会えても楽しい。枯草色の空き地にオオイヌノフグリやオドリコソウの花を見つけました。

春の兆しも感じながら、冬の散歩を楽しみました。

出会えた鳥:オオハクチョウ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ヒドリガモ、オオバン、カイツブリ、カワセミ、スズメ、ムクドリ、ツグミ、モズ、ジョウビタキ、ハシブトガラス、キジバト、メジロ、ヒヨドリ、ウグイス 声、ドバト、カワウ、アオサギ、シジュウカラ



オオハクチョウ・たくさんの野鳥



池でみられる野鳥リストで名前を確認



オオハクチョウの原寸大を描いて